

科名 外科 外40(a)

対象疾患名 治癒切除不能な進行・再発結腸・直腸癌

プロトコール名 BEV+mFOLFOX6

Rp	形態	ルート	薬品名	投与量	時刻・コメント	1	2	...	14
1	CVポート	メイン3-①	生食	250mL	ルートキープ 残破棄可	↓			
2	CVポート	側管①	グラニセトロンバッグ ファモチジン ネオレスタール注 デキサート 又は	1mg 20mg 10mg 9.9mg	30分かけて	↓			
3	CVポート	側管①	パロノセトロンバッグ ファモチジン ネオレスタール注 デキサート	0.75mg 20mg 10mg 9.9mg	30分かけて				
4	CVポート	側管③	ベバシズマブ注 生理食塩水	5mg/Kg 100mL	医師の指示通り	↓			
5	CVポート	メイン3-②	レボホリナート 5%ブドウ糖液	200mg/m ² 250mL	2時間かけて	↓			
6	CVポート	側管	オキサリプラチン注 5%ブドウ糖液	85mg/m ² 250mL	2時間かけて	↓			
7	CVポート	側管	フルオロウラシル注 5%ブドウ糖液	400mg/m ² 50mL	全開で	↓			
8	CVポート	メイン3-③	フルオロウラシル注 生理食塩液	2400mg/m ² mL※	46時間持続静注 パクスターインフューザーSV2.5	→			

※生理食塩液の量は5-FUの量により決定する。

1クール＝14日

～MEMO～

催吐レベル3(30%以上90%未満)

day2～4にデカドロン1回4mgを1日2回朝、昼食後に内服。(8mg/day)

【注1】 オキサリプラチンは必ず5%ブドウ糖で希釈。(薬効がおちる。)

【注2】 ベバシズマブは生食で希釈。(薬効が落ちる)

ベバシズマブは初回90分で点滴静注、初回投与の忍容性が良好であれば、2回目は60分で

行ってもよい。2回目の忍容性も良好であれば、以降30分投与もできる。

大きな手術(開腹手術等)後28日以内には投与しないこと。

【注3】 オキサリプラチンのアレルギー反応は他の薬剤と出現形態が違うので注意する。(現在は

4～16クール目、投与30分経過後に出現することが多いと報告されている。2007.10)

【注4】 外34 にベバシズマブを追加